

令和7年度 事業報告書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

特定非営利活動法人スマイルはたっこ

1 事業の成果

四万十市から運営委託されている事業のうち、ファミリーサポートセンター運営事業（以下「ファミサポ事業」という。）は契約期間3年の最終年度、放課後児童クラブ・放課後子ども教室・児童館運営事業（以下「3事業」という。）は契約期間3年の2年度目を無事に終了することができました。ファミサポ事業については、令和8年度（単年度契約）も引き続き運営委託され、センター開設から8年目となりました。3事業については、公設公営から公設民営に転換して2年目で、つまりは職員等は当法人職員となって2年目になり、川の水が海に向かうように自然と法人理念（「すべては子どもの笑顔のために」）に意識が向いてきました。運営基準に従って事務的にこなすのではなく、全ての役職員が心を込めて働くことで、事業を利用する子どもや保護者、事業に関わる役職員の満足感や達成感につながると 생각합니다。法人が理念や目標をきちんと示し、職員ひとりひとりに行き渡らせることが、法人の成長に欠かせない次の大きな仕事だと考えました。

ファミリーサポートセンターは、家庭での子育て、保育所や放課後児童クラブ等での保育や見守りなどを駆使しても埋められない子育ての隙間を地域の力で補う事業です。核家族やひとり親世帯が増え、子育てを手助けしてほしい会員（依頼会員）は多くいますが、手助けする会員（援助会員）が不足しているのが現状です。援助会員を増やすための広報活動や、受講しやすい講習会の企画、活動してくださっている援助会員が長く活動できるためのフォローアップなどに取り組みました。買い物やヘアカットの時間に子どもを預かってほしいというようなお手軽な利用だけでなく、誰かに子どもを預けない働けないといった切羽詰まった利用も少なくありませんでした。困難を抱える家庭の支援では、援助会員の負担も大きくなりがちで、アドバイザーによる仲介や援助活動の内容の見直し、援助会員へのフォローが欠かせませんでした。

放課後児童クラブは、4月にさくら第3学級が増え、5校13学級を運営しました。前年度に引き続き、子どもにとって居心地が良い、保護者にとって安心して預けられる、職員にとってやりがいをもって働ける、そんな事業運営を目指して、業務改善や効率化、保育の質の向上に取り組みしました。令和6年度、7年度の2年間で、個々の運営から法人の運営に整理され、業務改善、効率化が相当に進展しました。今年度特に効果が大きかったのは、保護者連絡アプリ tetoru 集金機能導入と、おやつの一元化でした。保育の質の向上については、職員の声を聴きながら研修や実地指導・助言の機会を多く取り入れたことで、学びの意欲や課題を見つけて解決しようとする姿勢がみられるようになったと思います。職員が、子どもをよく理解し、子どもを大切に育てる気持ちを持つことが、事業運営で最も大切なことです。引き続き、職員教育に努めたいと思います。

放課後子ども教室は、さくら教室がクラブ化したため、1教室減少の7教室を運営しました。教室においても、個々の運営から法人の運営へと大きく進展しましたが、事業の性質から運営の難しさを感じました。本来の望ましい地域学校協働活動にするためには、学校や地域との連携が欠かせませんが、連携には至りませんでした。開設日数、開設時間とも放課後児童クラブと同程度で、活動してくださる地域協働リーダーの負担は大きいですが、放課後児童クラブの職員の処遇と比較するとかなり劣ります。また、障害児、配慮が必要な児童の利用が増え、協働活動リーダーを手厚く配置したため、謝金支出が大きく増額しました。経営的には非常に厳しかったですが、安全な運営を最優先しました。利用している子どもの様子はどの教室も楽しそうで、保護者と教室の関係も良好な様子です。引き続き、事業の在り方について、関係機関としっかり協議していきたいと思います。

児童館では、児童館における健全育成活動等開発事業（以下、「開発事業」）において、不登校支援

に取り組みました。これは、児童館の役割や機能強化を図るため、新たに取り組んだものです。学校や家庭以外の居場所を目指して、不登校児童生徒を対象としたイベントの企画、来館呼びかけを取り組みの柱としていましたが、結果としてうまくいきませんでした。その理由は、不登校児童生徒へアプローチが届かなかったためです。本来なら登校している時間帯に、学校や家庭以外である児童館に来ることの妥当性や正当性、良し悪しについて整理ができず、学校関係機関（四万十市教育委員会・四万十市学校教育課）との合意形成が図れませんでした。そのため、来館経験があり、本人や家庭の状況が分かっている子どもに直接呼びかけることしかできませんでした。取り組みの必要性や手ごたえは十分に感じたので、次年度以降も大きなテーマと捉え取り組んでいきます。

こうして振り返ってみると、結果的には笑顔が多い1年だったと思います。委託元の四万十市とも十分に意思疎通が図れ、課題解決のために協働できたと思います。次年度は、ファミサポ事業、3事業とも契約最終年度となりますので、残された課題解決にしっかり取り組み、より良い形で令和9年度以降につなげたいと思います。

【令和7年度主な取り組み】

4月	(1) 雇用契約および活動依頼契約 放課後児童クラブ・児童館…労働条件通知書および承諾書 放課後子ども教室…活動依頼書および承諾書 (2) さくら第3学級開設（4月1日） (3) 保護者連絡アプリtetoru・集金機能付きの運用開始 (4) スポーツ安全保険団体加入（傷害保険・個人賠償責任保険） (5) 給与明細書等の電子化
5月	(1) 職員健康診断申し込み（実施：令和7年7月～令和8年1月） (2) 長期休暇時の配食サービスについて協議開始
6月	(1) 基本利用料免除申請（受付期間6月23日～7月25日） (2) 救急救命講習（6/24・26 放課後児童クラブ57名 児童館3名） (3) 夏休み支援員募集開始 (4) ホームページ刷新 入所申込書等の様式ダウンロード可能
7月	(1) 全学級・教室に動画配信サービスアマゾンプライム導入 (2) ベネッセオンライン講座体験（とんぼ学級 7月31日・8月1日） (3) 四万十市人権教育研究大会実践発表（7月30日） (4) 8月のみ利用を休止する児童の受付、あわせて8月のみ利用したい児童の受付
8月	(1) おやつ一元化スタート（献立・発注・配送までを事務局で管理） (2) 基本利用料免除の決定通知（8月8日決定通知・8月20日遡及請求額口座振替日・8月25日遡及返金） (3) なかよし第4学級開設の協議開始
9月	(1) 放課後子ども教室たけのこ教室集中支援 (2) 放課後児童クラブウォーターサーバー設置に向けて業者選定開始
10月	(1) 令和8年度利用案内開始（申し込み締め切り 12月12日） 新1年生…就学前健診会場 新2年生以上…各学級および学校から配布 (2) 高知県人権教育研究大会実践発表（土佐市10月11日） (3) 放課後児童支援員認定資格研修全4回（1名受講1名認定） (4) 東山小学校校舎新築工事完了に伴い、なかよし学級移転（10月25日） (5) インフルエンザワクチン接種費用の助成（10月1日～12月12日）

11 月	(1) はたっこまつり (11月3日 古津賀3号公園 約400名来場) (2) 学級見学会 (所属外の学級を視察し、意見交換)
12 月	(1) 令和8年度放課後児童クラブ入所選考 (2) 放課後児童クラブ運営規程一部改定 (3) 虐待防止・子どもの権利擁護研修 (放課後児童クラブ 15 名・児童館 3 名)
1 月	(1) 四万十市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の給与表の改訂に伴い、賃金改定
2 月	(1) 令和 8 年度入所決定通知書および待機決定通知書の発送
3 月	(1) 転校生及び待機繰り上げの入所決定通知および待機決定通知 (2) 放課後児童クラブ全学級ウォーターサーバー設置 (4月3日設置予定) (3) 令和 8 年度事業計画および予算書作成 (4) 令和 7 年度事業報告および決算書作成

【各事業の成果】

(1) ファミリーサポートセンター

ファミリーサポートセンターは、四万十市ファミリーサポートセンター運營業務委託仕様書およびファミリーサポートセンター預かり専用部屋設置業務実施要項に従って、アドバイザー2名で運営しました。会員数、活動実績等は以下のとおりです。

①会員登録数

	令和6年度末	令和 7 年度末	増減
依頼会員	95名	106名	11名増
援助会員	51名	58名	7名増
両方会員	13名	13名	増減なし

②活動実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
マッチング		2	4	3	1	0	0	3	3	1	1	5	1	24
援助活動	送迎	27	31	41	39	43	26	18	9	25	13	27	30	329
	預かり	39	39	38	36	49	28	27	33	37	23	39	46	434
	計	66	70	79	75	92	54	45	42	62	36	66	76	763
預かり専用室での援助活動		18	14	16	21	30	12	12	14	13	15	20	17	202

③講習会

種別	日時	講義数	受講者数
基礎講習会	6月7日(土)～8日(日)・7月11日(金)	9	延べ54名
実務講習会	9月27日(土)・10月3日(金)～4日(土)	8	延べ52名
救急救命講習	4月26日(土)・7月15日(火)・10月6日(月)・11月8日(土)		合計11名

④会員交流会

内容	日時	場所	参加人数
お外でパッキング	5月18日(土)	かわらっこ	19名
消しゴムはんこで遊ぼう	7月19日(土)	西土佐ふれあいセンター	
消しゴムはんこで遊ぼう	8月17日(土)	四万十市社会福祉センター	7名
塩麴&麴スープ	1月24日(土)	しまんとびあキッチンスタジオ	8名
ハーブバスソルトづくり	2月12日(土)	しまんとびあミーティングルーム3	6名

(2) 放課後児童クラブ

放課後児童クラブは、待機児童対策で令和6年度に限り開設運営した放課後子ども教室さくら教室が、令和7年度放課後児童クラブとなったため、5校13学級運営しました。定員総数は392名に対し、令和8年3月時点の利用児童数は386名（前年度363名）でした。年間開設日数は、最少250日～最多252日で、年間延べ利用児童数は、76,344名（前年度70,369名）でした。

職員は、夏休みや冬休みなどの期間限定雇用も含めて、98名（前年度85名）を雇用しました。

令和8年3月31日現在（ ）内は前年度実績

クラブ名	学級	定員	現員	年間開設日数		延べ利用 児童数	職員数※1		
				学校登校日	学校休業日		常勤	非常勤	期間限定
さくら学級 (中村小)	第1	30	30 (30)	194 (195)	56 (55)	5,922 (5,486)	2 (1)	14 (12)	10 (10)
	第2	39	35 (31)	194 (198)	57 (52)	6,472 (5,506)			
	第3	20	15 (一)	194 (一)	57 (一)	4,243 (一)			
つばめ学級 (中村南小)	第1	33	26 (28)	194 (197)	57 (55)	4,870 (4,514)	11 (10)	4 (3)	6 (3)
	第2	31	25 (27)	194 (196)	58 (58)	4,845 (4,580)			
	第3	31	27 (28)	194 (198)	57 (56)	4,999 (4,716)			
なかよし学級 (東山小)	第1	37	31 (37)	194 (198)	56 (53)	6,616 (7,970)	10 (12)	4 (1)	6 (4)
	第2	26	31 (26)	194 (198)	56 (53)	6,590 (5,330)			
	第3	31	36 (31)	194 (198)	57 (53)	6,749 (4,725)			
とんぼ学級 (具同小)	第1	45	43 (38)	194 (196)	56 (55)	8,813 (7,396)	10 (9)	4 (5)	7 (5)
	第2	30	30 (29)	194 (194)	57 (56)	5,583 (6,071)			
	第3	30	30 (29)	194 (196)	57 (55)	5,757 (5,883)			
どんぐり学級 (東中筋小)		29	27 (29)	193 (200)	58 (52)	5,879 (6,192)	0 (0)	6 (6)	4 (4)
事務局※2							3※3	1※4	

※1 常勤とは、開設日、開設時間を通じて勤務する職員。非常勤とは、常勤よりも勤務日、勤務時間が少ない職員。期間限定とは、夏休み等の長期学校休業期間に雇用した職員。

※2 事務局で、放課後児童クラブおよび放課後子ども教室のサービス管理、労務管理、会計管理を実施。

※3 事務局職員のうち、事務局長は非常勤兼務、事務局員のうち1名は常勤兼務、2名は常勤専従。

(3) 放課後子ども教室

放課後子ども教室は、さくら教室が放課後児童クラブになったため、1教室減って7校7教室を運営しました。年間開設日数は、最少233日～最多238日で、年間延べ利用児童数は24,071名（前年度20,471名）でした。

活動した支援員は、夏休みや冬休みなどの期間限定の契約を含めて73名（前年度62名）でした。

令和8年3月31日現在（ ）内は前年度実績

教室名	登録児童数							年間開設日数	延べ利用児童数	支援員	
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計			通常	期間
アカメ教室 (八束小)	5 (4)	4 (5)	5 (3)	3 (0)	1 (2)	2 (15)	20 (29)	238 (238)	3,951 (3,172)	12 (7)	3 (0)
たけのこ教室 (竹島小)	8 (4)	4 (4)	7 (8)	10 (6)	6 (6)	6 (1)	41 (29)	237 (236)	3,662 (2,206)	5 (1)	5 (7)
貝ヶ森教室 (中筋小)	7 (6)	6 (8)	8 (2)	2 (5)	5 (3)	3 (6)	31 (30)	238 (242)	5,862 (5,202)	13 (10)	0 (2)
わかたけ教室 (利岡小)	0 (0)	0 (2)	2 (2)	3 (5)	3 (2)	2 (2)	10 (13)	237 (237)	1,854 (2,159)	4 (2)	1 (1)
ひまわり教室 (蔵岡小)	6 (3)	3 (4)	4 (2)	3 (3)	3 (4)	4 (1)	23 (17)	233 (238)	4,406 (3,519)	5 (4)	0 (0)
やまっこ教室 (大用小)	3 (2)	2 (2)	2 (5)	5 (2)	0 (1)	2 (6)	14 (18)	234 (179)	1,210 (626)	4 (4)	6 (6)
はまっこ教室 (下田小)	5 (5)	5 (2)	2 (6)	6 (3)	2 (4)	5 (6)	25 (26)	238 (237)	3,126 (3,587)	11 (16)	4 (2)

※1 貝ヶ森教室の8月の開設時間は13：00～17：00

※2 さくら教室は放課後児童クラブさくら学級の待機児童対策として令和6年度に限り開設。

※3 通常は年間を通じて活動する支援員、期間限定は夏休み等の長期学校休業期間に活動する支援員の数。

(4) 児童館

児童館は、四万十市児童館運営基準に従って、運営しました。児童館館長は四万十市職員が就き、児童厚生員3名（常勤1名、非常勤2名）を雇用しました。

①令和7年度来館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数(日)	21	21	20	23	22	21	23	21	22	20	19	20	253
子ども(人)	122	80	111	218	309	135	195	164	160	143	93	163	1,893
大人(人)	19	35	30	25	59	34	31	14	18	32	18	19	334
計(人)	141	115	141	243	368	169	226	178	178	175	111	182	2,227

②イベント等

内容	日時	場所	参加人数
お菓子づくり(いちごあめ)	4月26日(土)	児童館	2名
工作(ワイヤークラフト)	5月18日(土)	児童館	2名
えくぼくらぶイベント協力	6月8日(日)	子育て広場とことこ	職員4名
工作(ウッドフラワーづくり)	6月14日(土)	児童館	6名
工作(コースターづくり)	7月24日(木)	中村高等技術学校	14名

工作（PPバンドのかごづくり）	8月23日（土）	児童館	6名
えくぼくらぶイベント協力	8月24日（日）	子育て広場とことこ	職員4名
お菓子づくり（トライフル）	9月13日（土）	児童館	8名
工作（オリジナル巾着づくり）	10月18日（土）	児童館	4名
社会見学「解体工場」	10月25日（土）	四国解体工業株式会社	40名
工作（しいたけのこまうち）	11月15日（土）	児童館	15名
工作「しめ縄づくり」	12月20日（土）	児童館	16名
社会見学「牛とのふれあいを楽しもう」	12月26日（金）	高知県立幡多農業高等学校	17名
工作（和の寄せ植えづくり）	1月24日（土）	児童館	6名
えくぼくらぶイベント協力	1月25日（日）	子育て広場とことこ	職員4名
お菓子づくり（チョコパイ）	2月14日（土）	児童館	13名
たこ焼きパーティー	3月3日（火）	児童館	3名
ふれあい遠足（消防署見学）	3月25日（水）	四万十消防署	8名

2 事業の実施に関する事項

（1） 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日 時	実施 場 所	従事者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数	事業費の 金額 (千円)
子育てし やすい環 境をつく るための 事業	ファミリーサポートセンター 事業（四万十市より運営委託）	4月1日 ～3月 31日	四万十 市内	常勤 2名	登録会員数 依頼会員106名 援助会員 58名 両方会員 13名 マッチング24件 援助活動 763件	
	四万十市放課後児童クラブ （四万十市より運営委託）	4月1日 ～3月 31日	5校13 学級	常勤33名 非常勤 65名	四万十市 年間延べ利用児 童 76,344名	
	四万十市放課後子ども教室 （四万十市より運営委託）	4月1日 ～3月 31日	7校7教 室	協働活動 リーダー 73名	四万十市 年間延べ利用児 童 24,071名	
	四万十市立児童館 （四万十市より運営委託）	4月1日 ～3月 31日		常勤3名	四万十市 子ども1,893名 大人 334名	
	託児事業	不定期		職員等 8名程度		
子どもの 健やかな 成長を支 援する事 業	第4回 はたっこまつり	令和7 年11月 3日	古津賀 3号公 園	役職 員・ボラ ンティア40名	幡多地域 400名程度	
	クリスマスイベント出店（駄 菓子屋） 主催 cuddle family	令和7 年12月 6日	アピア さつき	役員2名	幡多地域	

(2) その他の事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数	事業費の 金額 (千円)
	実績なし					

(備考)

- 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載してください。
- 2の(1)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数、受益対象者の範囲及び人数並びに事業費の金額をそれぞれ記載してください。
- 2の(1)のうち「受益対象者の範囲及び人数」の欄には、具体的な受益対象者及び人数を記載してください。
- 2の(2)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数及び事業費の金額をそれぞれ記載してください。定款上、「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、当該事業年度に実施しなかった場合も「実施しなかった」旨を記載してください。

第7期

決算報告書

自：令和 7年 4月 1日
至：令和 8年 3月31日

〒787-0150
高知県四万十市井沢1031番地24

特定非営利活動法人 スマイルはたっこ
(法人番号:6490005006608)

理事長 久保 美保

活動計算書

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

特定非営利活動法人 スマイルはたっこ

(単位：円)

科目		金額		
I	経常収益			
1.	受取会費			
	正会員受取会費	54,000	54,000	
2.	受取寄附金			
	受取寄附金	100,000	100,000	
3.	事業収益			
	ファミサポ事業収益	9,729,153		
	児童クラブ事業収益	99,047,000		
	子ども教室事業収益	17,160,000		
	児童館事業収益	6,647,000		
	利用者負担金	18,412,400		
	託児事業収益	130,600	151,126,153	
4.	その他収益			
	受取利息	47,399		
	雑収益	42,900	90,299	
	経常収益計			151,370,452
II	経常費用			
1.	事業費			
(1)	人件費			
	給料手当	87,010,563		
	法定福利費	7,587,919		
	賞与	9,749,864		
	福利厚生費	183,827		
	人件費計	104,532,173		
(2)	その他経費			
	諸謝金	18,028,800		
	印刷製本費	81,713		
	旅費交通費	174,777		
	通信運搬費	1,442,336		
	消耗器具備品費	4,658,132		
	広報宣伝費	412,913		
	修繕費	246,543		
	水道光熱費	193,516		
	地代家賃	1,820,136		
	賃借料	305,664		
	保険料	510,784		
	租税公課	12,000		
	管理諸費	999,482		
	支払手数料	151,067		

委託費対象外経費	10,423,575		
その他経費計	39,461,438		
事業費計		143,993,611	
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	3,639,600		
法定福利費	500,992		
福利厚生費	45,157		
人件費計	4,185,749		
(2) その他経費			
支払寄付金	20,000		
旅費交通費	4,588		
通信運搬費	24,155		
消耗器具備品費	87,628		
広報宣伝費	7,308		
減価償却費	179,174		
保険料	7,600		
諸会費	32,000		
租税公課	20,500		
支払手数料	2,420		
業務委託費	1,604,900		
諸謝金	146,000		
雑費	21,690		
その他経費計	2,157,963		
管理費計		6,343,712	
経常費用計			150,337,323
当期経常増減額			1,033,129
Ⅲ 経常外収益			
経常外収益計			0
Ⅳ 経常外費用			
当期正味財産増減額			1,033,129
前期繰越正味財産額			6,833,219
次期繰越正味財産額			7,866,348

活動計算書

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

特定非営利活動法人 スマイルはたっこ

(単位：円)

科目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	54,000	0	54,000
2. 受取寄附金			
受取寄附金	100,000	0	100,000
3. 事業収益			
ファミサポ事業収益	9,729,153	0	9,729,153
児童クラブ事業収益	99,047,000	0	99,047,000
子ども教室事業収益	17,160,000	0	17,160,000
児童館事業収益	6,647,000	0	6,647,000
利用者負担金	18,412,400	0	18,412,400
託児事業収益	130,600	0	130,600
4. その他収益			
受取利息	47,399	0	47,399
雑収益	42,900	0	42,900
経常収益計	151,370,452	0	151,370,452
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	87,010,563	0	87,010,563
法定福利費	7,587,919	0	7,587,919
賞与	9,749,864	0	9,749,864
福利厚生費	183,827	0	183,827
人件費計	104,532,173	0	104,532,173
(2) その他経費			
諸謝金	18,028,800	0	18,028,800
印刷製本費	81,713	0	81,713
旅費交通費	174,777	0	174,777
通信運搬費	1,442,336	0	1,442,336
消耗器具備品費	4,658,132	0	4,658,132
広報宣伝費	412,913	0	412,913
修繕費	246,543	0	246,543
水道光熱費	193,516	0	193,516
地代家賃	1,820,136	0	1,820,136
賃借料	305,664	0	305,664
保険料	510,784	0	510,784
租税公課	12,000	0	12,000
管理諸費	999,482	0	999,482

支払手数料	151,067	0	151,067
委託費対象外経費	10,423,575	0	10,423,575
その他経費計	39,461,438	0	39,461,438
事業費計	143,993,611	0	143,993,611
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	3,639,600	0	3,639,600
法定福利費	500,992	0	500,992
福利厚生費	45,157	0	45,157
人件費計	4,185,749	0	4,185,749
(2) その他経費			
支払寄付金	20,000	0	20,000
旅費交通費	4,588	0	4,588
通信運搬費	24,155	0	24,155
消耗器具備品費	87,628	0	87,628
広報宣伝費	7,308	0	7,308
減価償却費	179,174	0	179,174
保険料	7,600	0	7,600
諸会費	32,000	0	32,000
租税公課	20,500	0	20,500
支払手数料	2,420	0	2,420
業務委託費	1,604,900	0	1,604,900
諸謝金	146,000	0	146,000
雑費	21,690	0	21,690
その他経費計	2,157,963	0	2,157,963
管理費計	6,343,712	0	6,343,712
経常費用計	150,337,323	0	150,337,323
当期経常増減額	1,033,129	0	1,033,129
III 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
IV 経常外費用			
当期正味財産増減額	1,033,129	0	1,033,129
前期繰越正味財産額	6,833,219	0	6,833,219
次期繰越正味財産額	7,866,348	0	7,866,348

事業活動計算書

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

特定非営利活動法人 スマイルはたっこ

(単位：円)

科目	児童クラブ	子ども教室	児童館	ファミサポ	その他の事業	管理部門	合計
I 経常収益							
1. 受取会費	0	0	0	0	0	54,000	54,000
2. 受取寄附金	0	0	0	0	0	100,000	100,000
3. 事業収益	117,329,000	17,290,400	6,647,000	9,729,153	130,600	0	151,126,153
4. その他収益	0	42,900	0	0	0	47,399	90,299
経常収益計	117,329,000	17,333,300	6,647,000	9,729,153	130,600	201,399	151,370,452
II 経常費用							
1. 事業費							
(1) 人件費							
給料手当	76,785,544	0	4,745,876	5,479,143	0	0	87,010,563
法定福利費	6,277,386	0	411,201	899,332	0	0	7,587,919
賞与	8,056,152	0	809,671	884,041	0	0	9,749,864
福利厚生費	151,111	0	6,739	25,977	0	0	183,827
人件費計	91,270,193	0	5,973,487	7,288,493	0	0	104,532,173
(2) その他経費							
諸謝金	0	17,265,550	50,000	635,250	78,000	0	18,028,800
印刷製本費	0	0	0	81,713	0	0	81,713
旅費交通費	105,500	0	10,828	49,949	8,500	0	174,777
通信運搬費	855,130	262,931	23,078	301,197	0	0	1,442,336
消耗器具備品費	3,459,450	589,097	458,947	143,255	7,383	0	4,658,132
広報宣伝費	330,000	0	4,887	78,026	0	0	412,913
修繕費	177,793	68,750	0	0	0	0	246,543
水道光熱費	83,951	0	0	109,565	0	0	193,516
地代家賃	1,323,936	0	0	496,200	0	0	1,820,136
賃借料	0	0	116,424	189,240	0	0	305,664
保険料	163,450	121,500	0	222,834	3,000	0	510,784
租税公課	600	0	0	10,800	600	0	12,000
管理諸費	887,832	111,650	0	0	0	0	999,482
支払手数料	60,713	8,954	41,965	39,435	0	0	151,067
委託費対象外経費	10,291,575	132,000	0	0	0	0	10,423,575
その他経費計	17,739,930	18,560,432	706,129	2,357,464	97,483	0	39,461,438
事業費計	109,010,123	18,560,432	6,679,616	9,645,957	97,483	0	143,993,611
2. 管理費							
(1) 人件費							
役員報酬	0	0	0	0	0	3,639,600	3,639,600
法定福利費	0	0	0	0	0	500,992	500,992
福利厚生費	0	0	0	0	0	45,157	45,157
人件費計	0	0	0	0	0	4,185,749	4,185,749
(2) その他経費							
支払寄付金	0	0	0	0	0	20,000	20,000
旅費交通費	0	0	0	0	0	4,588	4,588
通信運搬費	0	0	0	0	0	24,155	24,155
消耗器具備品費	0	0	0	0	0	87,628	87,628
広報宣伝費	0	0	0	0	0	7,308	7,308
減価償却費	0	0	0	0	0	179,174	179,174
保険料	0	0	0	0	0	7,600	7,600
諸会費	0	0	0	0	0	32,000	32,000
租税公課	0	0	0	0	0	20,500	20,500
支払手数料	0	0	0	0	0	2,420	2,420
業務委託費	0	0	0	0	0	1,604,900	1,604,900
諸謝金	0	0	0	0	0	146,000	146,000
雑費	0	0	0	0	0	21,690	21,690
その他経費計	0	0	0	0	0	2,157,963	2,157,963
管理費計	0	0	0	0	0	6,343,712	6,343,712
経常費用計	109,010,123	18,560,432	6,679,616	9,645,957	97,483	6,343,712	150,337,323
当期経常増減額	8,318,877	△1,227,132	△32,616	83,196	33,117	△6,142,313	1,033,129

貸借対照表

令和 8年 3月31日現在

特定非営利活動法人 スマイルはたっこ

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	15,113,393		
未収金	4,854,053		
前払費用	573,502		
立替金	322,662		
流動資産合計		20,863,610	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品	139,552		
有形固定資産計	139,552		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		139,552	
資産合計			21,003,162
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,721,490		
未払費用	11,142,341		
前受金	6,000		
預り金	266,983		
流動負債合計		13,136,814	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			13,136,814
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		6,833,219	
当期正味財産増減額		1,033,129	
正味財産合計			7,866,348
負債及び正味財産合計			21,003,162

財 産 目 録
令和 8年 3月 31日 現在

特定非営利活動法人 スマイルはたっこ
(単位：円)

科 目				金 額		
I 資産の部						
1. 流動資産						
現金預金				15,113,393		
	手元現金			0		
	四国銀行／中村支店	5303215		8,360,742		
	四国銀行／中村支店	5305443		446,419		
	四国銀行／中村支店	5313730		280,132		
	四国銀行／中村支店	5343041		0		
	四国銀行／中村支店	5343050		6,026,100		
	四国銀行／中村支店	5343060		0		
	未収金	四万十市 業務委託料 他		4,854,053		
	前払費用	スポーツ安全保険 保険料 他		573,502		
	流動資産合計				20,863,610	
2. 固定資産						
(1) 有形固定資産						
	什器備品	別紙「固定資産減価償却明細書」参照		139,552		
	有形固定資産計			139,552		
(2) 無形固定資産						
	無形固定資産計			0		
(3) 投資その他の資産						
	投資その他の資産計			0		
	固定資産合計				139,552	
	資産合計					21,003,162
II 負債の部						
1. 流動負債						
	未払金	tetoru 手数料・利用料 他		1,721,490		
	未払費用	3月分給与、社会保険料		11,142,341		
	前受金	会員会費		6,000		
	預り金	雇用保険料		266,983		
	流動負債合計				13,136,814	
2. 固定負債						
	固定負債合計				0	
	負債合計					13,136,814
	正味財産					7,866,348

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によつてい
ます。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当なし

(2) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

(3) 引当金の計上基準
該当なし

(4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
該当なし

(5) ボランティアによる役務の提供
該当なし

(6) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によつています。

2. 会計方針の変更

該当なし

3. 事業別損益の状況

事業活動内訳書を参照

4. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

該当なし

5. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

該当なし

6. 使途等が制約された寄附金等の内訳

該当なし

7. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
什器備品	334,400	0	0	334,400	194,848	139,552
合計	334,400	0	0	334,400	194,848	139,552

8. 借入金の増減内訳

該当なし

9. 役員及びその近親者との取引の内容

関連当事者との取引については、金額的重要性が低いため注記を省略しています。

10. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状況並びに正味財産の増減の状況を明らかにす
るために必要な事項

該当なし

(令和 7年 4月 1日 ~ 令和 8年 3月31日)

P - 1

印刷：令和 8年 4月28日(08:27)

[illegible]

(TPS1000-K3 Copyright(C) TKC)